

令和7年10月25日（日）第2回大磯高等学校 学校運営協議会 アンケート結果まとめ

授業全般について

- 「主体的、対話的で深い学び」に向けて、各教科や先生方が工夫を凝らしている様子が見られた。
- 生徒が熱心に授業を受けている姿が印象的だった。
- 授業にメリハリがあり、学校全体に良い雰囲気が醸成されていると感じた。
- 生徒がタブレット PC を使用している姿から、ICT 活用が進んでいるという良い印象を受けた。
- 卒業生からは、昔と変わらないのんびりとした雰囲気に懐かしさを感じるという声もあった。

教員の指導と工夫

- ある先生の個性的なキャラクターや工夫が見られ、授業を興味深く、面白くしているという感想があった。
- 特に2年生の公共の授業は面白く、生徒が引き込まれている様子を感じられた。
- プロジェクターの使い方が工夫されており、まるでクイズ番組を見ているようで、飽きさせない配慮がうかがえた。
- 教壇に立つ教員の姿は、普段とは違う新鮮なものだった。
- 見えないところで努力をしている様子を感じられ、他の人にももっと知ってもらいたい。

生徒の学習状況と課題

- 授業中の生徒の発話が「答え」を言う場が中心になっており、もう少し「対話」を促す工夫があると良いという意見があった。
- 生徒同士が学び合う様子を、もっと見てみたいという要望があった。
- 活発に発言する生徒がいる一方で、受け身の姿勢の生徒も見受けられた。
- 科目によっては、共通のプリントが使用されていて、効率的で良い。

英語の授業について（具体的な観察点）

- 英語の授業では、先生によって指導法が異なることが印象的だった。
- 2人の先生による対話形式の授業が効果的だと感じられた。
- 発言者が限定されるのではなく、さまざまな生徒が発言できるような工夫が見られた。
- 教師が iPad やスピーカーを使用するなど、発言者の声が届きやすいように配慮されていた。

設備・環境に対する要望

- 校舎の老朽化が気になったという意見が複数あった。建て替えや大規模改修によって、環境を整備してほしいという要望が出された。
- IT 機器（特に教室の機器）の充実を図ってほしいという要望があった。
- 古くなった設備について、塗装するなど安価な方法でも改善できるのではないかと提案があった。

学校の雰囲気と生徒の様子

- 生徒たちが真面目に高校生活を楽しんでいる様子が伝わってきた、という肯定的な感想があった。
- 生徒が生き生きと学校生活を送っているのは、教職員の励ましによるものだろう、という推察があった。
- 学校が海に近い立地であることに驚いた、という感想が寄せられた。

その他

- 見学の機会を設けてくれたことに対し、感謝の言葉が述べられた。
- 中学生への配慮が見られる生徒が散見されたことや、それを受け入れようとする学校の姿勢を評価する声があった。